

大袂について

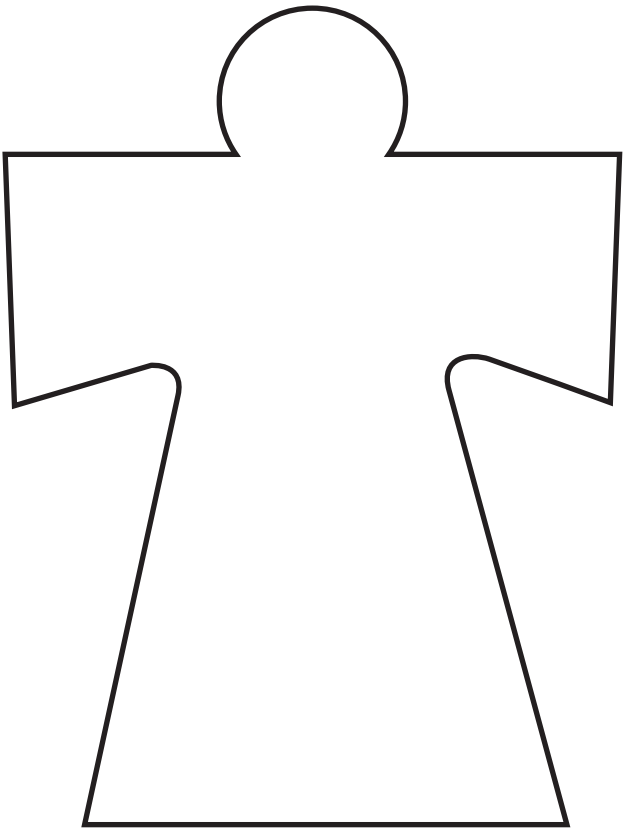
おほはらえ
大袂は古来より六月（夏越の袂）と十二月（年越の袂）に精神的な心の罪穢を祓い清める神事として行われています。私たちは、本来神様と同じ魂（心）を生まれながらに持っているわけですが、生活をしていくうちに、様々な欲望などに触れ、知らず知らずのうちに、その魂がくもってくるといわれております。それを「袂」というものによって清め、本来の清らかな心に立ち帰らせることを目的とします。

新田神社では『六月三十日の午後一時』また『十二月三十一日の午後三時』より、大袂の神事を境内で斎行しておりますので、ご自由にご参列下さい。

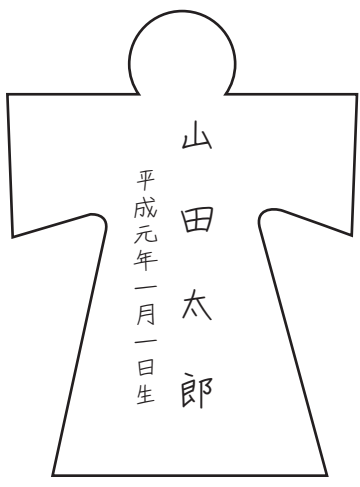
また諸事情で当日参列が無理な場合は、「形代」に御家族の氏名、生年月日を記し、それぞれこれを手に持ち、身体を撫でて息を吹き掛けて、六月は二十九日迄に、また十二月は三十日迄に初穂料（お気持ち）を添えて、社務所にお届け下さい。その折に除災の御神札を授与致します。

※神社では、大袂当日、形代を集めて神事を斎行し、皆様の災いを祓って、明日への幸福・繁栄・発展を祈願致します。

切り取ってご記入ください。



「形代の記入例」



※男女同じ

おひとり一枚を
用いて下さい。